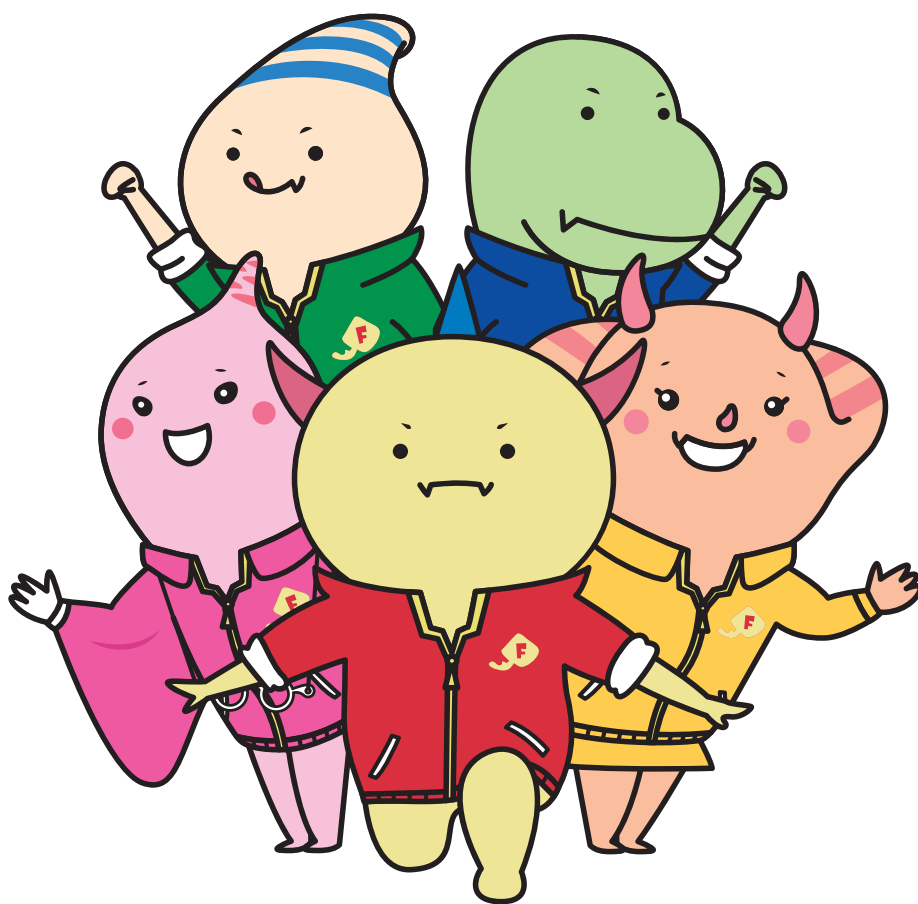


敦賀市開催競技

開催準備編



福井しあわせ元気国体 2018
福井しあわせ元気大会 2018

第73回 国民体育大会 / 第18回 全国障害者スポーツ大会 織りなそう 力と技と美しさ



はびねずダンス



各競技団体への開催決定書の交付

敦賀市リレーイベント

開催準備

敦賀市実行委員会



市民の総力を結集して国体・障スポの円滑な運営を目指して

「福井しあわせ元気」国体・障スポを本市で開催するにあたり、市民総参加で盛り上げ成功に導くためには、市民の総力を結集して開催準備に取り組む必要があることから、平成26年3月に市内の各層の代表者で構成する第73回国民体育大会敦賀市準備委員会を設立しました。

同委員会は、平成27年7月に第73回国民体育大会の福井県開催が正式決定となったことを受け、同年11月に福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会敦賀市実行委員会に改組しました。

実行委員会では、常任委員会と4つの専門委員会（総務企画・競技式典・宿泊衛生・輸送交通）を設け、委員の皆さんのさまざまな意見を聴きながら市民総参加による両大会開催を目指しました。

開催決定書



準備委員会設立総会



実行委員会 常任委員会



実行委員会 洲上会長



実行委員会総会



総務企画専門委員会



宿泊衛生専門委員会



輸送交通専門委員会



競技式典専門委員会



水泳(競泳) / 第64回全国国公立大学選手権水泳競技大会(8月)

開催準備

競技別プレ大会



国体本番へ向け5競技のプレ大会を開催

両大会の開催の機運醸成及び国体開催準備を万全にする目的で国体開催1年前の平成29年6月から10月にかけて5競技の競技別プレ大会を開催しました。

各大会をとおして、国体開催を想定した、競技の運営、会場設営などを競技団体や競技会係員、運営サポーターなどのスタッフが緊張感をもって確認しあうことで本番に向けて、各競技の反省や課題を明確にできました。

各競技会場では、選手たちの熱気あふれるプレーが繰り広げられ、市民の皆さんに開催競技を紹介する絶好の場になりました。

弓道 / 第64回全日本勤労者弓道選手権大会(6月)



空手道 / 第41回北信越空手道選手権大会(7月)



ソフトボール / 第69回全日本総合女子ソフトボール選手権大会(9月)



卓球 / 平成29年度全日本卓球選手権大会(団体の部)(10月)



01
開催準備編

02
(本大会編)
(国体編)

02
(本大会編)
(障スポ編)

03
資料編



敦賀北小学校 体育大会



松原小学校 体育大会



気比中学校 体育大会

イベント出演

開催準備

広報啓発活動



市内のイベントに、はぴりゅうとともに国体PR

両大会の開催を広く市民の皆さんに周知するため、福井国体・障スポのマスコットキャラクター「はぴりゅう」とともに市内の各種イベントに積極的に参加し国体のPR活動を行いました。延べ416回（平成26年8月～平成30年9月）のイベントに参加しました。

また、国体開催を周知するひとつのツールとしてさまざまな啓発グッズを作成し、イベント参加時の広報活動に活用しました。

東郷地区体育祭



各地区・各小中学校の体育大会や地域のお祭りなどに出演し、さまざまなPR活動を行いました。



粟野ふる里祭り



原区コスモスまつり



西地区体育大会



愛発地区体育祭



花換まつり
福娘と桜の小枝を交換し、国体成功を祈願



親子のフェスティバル



平成28年は、卓球体験コーナー(上)、29年は、はぴりゅうふわふわ(下)で国体ブース出展



つるか環境フェア



キャップアートで敦賀市開催競技のはぴりゅうを制作



こどもの国の各種イベントに出演



とうろう流しと大花火大会

はぴりゅうもとうろうの販売のお手伝い



はしあいつくびいなす寄港イベント

各種クルーズ客船の寄港イベントでも国体をPR



敦賀港カッターレース

平成28年は、はぴ隊としても出場



敦賀まつり / 敦賀市の一大イベントには毎年参加しPR



JOYJOY敦賀フェスタ

国体PRブースで、ぬり絵コーナーを行いました



カーニバル大行進では「はぴねすダンス」、民謡踊りのタペでは「はぴねす音頭」、国体PRブースでは「はぴりゅうキーホルダー作り」etc...



敦賀港イルミネーション「ミライエ」

点灯式で粟野中学校の皆さんとはぴねすソングを合唱

コスプレはぴりゅう

芭蕉はぴりゅう



芭蕉ウォーク等

はぴりゅうトナカイ



クリスマスイベント



広報啓発グッズ

選手・監督の皆さんには人道の港敦賀のおもてなしとして「リンゴ型タオル」を配布しました。

01 開催準備編

02 (本大会編)

02 (障スポ編)

03 資料編



平成29年11月30日(木)、北海道日本ハムファイターズの栗山英樹監督を招いての講演会を開催

開催記念／国体・障スポ敦賀市開催記念講演会

開催準備

カウントダウン(記念)イベント



800日前からカウントダウンイベントがスタート

「福井しあわせ元気」国体・障スポの開催機運の醸成を図ることを目的に、平成28年7月の800日前から節目にさまざまな記念イベントを実施しました。(※100日前は採火イベント、直前イベントは炬火集火式/市民決起集会のページで掲載)
その他、平成29年11月には、北海道日本ハムファイターズの栗山英樹監督を招いた国体開催記念講演会も行いました。

800日前／カウントダウンウォールお披露目会

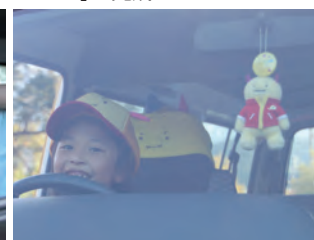


平成28年7月7日(木)、沓見保育園の園児を招いて、カウントダウンウォールのお披露目会

700日前／国体PRカー「HAPPY GO」披露式



披露式で、最後に目を入れて「HAPPY GO」が完成



平成28年10月15日(土)、国体PRカー「HAPPY GO」を市民がカラースプレーでデコレーション

600 日前／はぴねすダンス応援部結成式



平成29年1月22日(日)、市民の国体PR隊「はぴねすダンス応援部」の結成式

500 日前／みんなで行こう！はぴねす王国へ



平成29年5月3日(水・祝)、こどもの国を国体とはぴりゅう一色に飾り付け、多世代で楽しめるイベントを開催

400 日前／都道府県手作り応援のぼり旗贈呈式



平成29年8月9日(水)、市内の児童生徒が制作した手作り応援のぼり旗の贈呈式を開催。また、水泳のプレ大会に合わせてのぼり旗の展示会(～8月12日(土))を実施

555 日前／可動式カウントダウン付顔抜きパネル完成披露・点灯式

平成29年3月3日(金)に、敦賀工業高校に制作いただいた、可動式カウントダウン付顔抜きパネルの引渡式を行い、555 日前となる3月9日(木)に市役所市民ホールで点灯を行いました。



300 日前／はぴりゅうイルミネーション点灯式・光のアート披露式



平成29年11月19日(日)、敦賀港イルミネーション「ミライエ」と連携し、はぴりゅうイルミネーション等を設置

321 日前／はぴねすカウントダウン3・2・1

321 日前となる平成29年10月29日(月)から、ホームページ上で市民や敦賀市にゆかりのある方が国体までのカウントダウンを行う「はぴねすカウントダウン3・2・1」を行いました。



200 日前／国体PR展示ブース完成披露式



平成30年2月27日(火)、敦賀工業高校の生徒に制作いただいた国体PR展示ブースの完成披露式を開催

01
開催準備編

02
(本大会編
国体)

02
(本大会編
障スポ)

03
資料編



開催準備

探火イベント



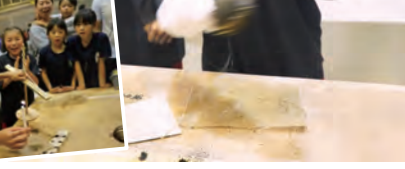
【期日】 平成30年6月6日(水)、7日(木) 【会場】 きらめきみなと館

スポーツ少年団の子どもたちが火起こしにチャレンジ!

「福井しあわせ元気」国体・障スポの開催に向けて、県内全17市町で炬火(オリンピックの聖火に当たるもの)を活用したイベントが開催されました。

本市においては、国体敦賀市開催100日前に合わせて探火イベントを実施し、スポーツ少年団の子どもたちがマイギリ式といわれる木の摩擦熱を利用した採火方法により火起こしを行いました。各団が着火までのタイムを競い、タイムの速かった上位10団が敦賀の各地域の名所や名産を表した火を誕生させました。





イベント結果



団名	獲得火名
栗野ミニバスケットボール スポーツ少年団	気比の松原の火
敦賀南レッドローズ スポーツ少年団	鉄道の火
栗野チビッツバレーボール スポーツ少年団	野坂岳の火
敦賀NSC ソフトボールクラブ スポーツ少年団	中池見湿地の火
敦賀W-WINS スポーツ少年団	水島の火
中郷ミニバスケットボール スポーツ少年団	東浦みかんの火
敦賀北 スポーツ少年団	敦賀城の火
西校下 スポーツ少年団	人道の港の火
中央ボンバーズ スポーツ少年団	疋田舟川の火
F ☆キッズ スポーツ少年団	中郷古墳群の火

01 開催準備編

02 本大会編
(国体)

02 本大会編
(障スポ)

03 資料編



開催準備

炬火集火式／市民決起集会



【期日】 平成30年8月26日(日) 【会場】 市民文化センター

直前市民決起集会を開催

国体開催直前には、運営サポーターや市民のおもてなし機運の醸成を図るため、市民決起集会を開催。炬火集火式では、炬火名の表彰式や採火イベントで誕生した10個の火の集火セレモニーを行い、「敦賀市の炬火」が誕生しました。

その他、東京ディズニーランド開業等に携わった青柳美智代先生を招いてのおもてなし講習会や、日本水泳連盟アスリート委員会とのタイアップイベント「アスリートトークショー」も開かれ、元競泳日本代表の星奈津美さんと萩原智子さんによるトークショー等を開催しました。



炬火集火式(炬火名入賞者表彰式・集火セレモニー)



炬火名入賞者の表彰式



採火イベントで10個の火を獲得したスポーツ少年団の代表者



スポーツ少年団の代表者から火を引き継ぎ炬火台へ点火する洲上会長と炬火命名者・道端さん



10個の火が一つになり敦賀市の炬火が誕生

敦賀市炬火名 輝いて みなとつるがの 希望の火

本市の炬火名には、555作品の公募の中から最優秀賞に選出された松陵中学校 道端友菜さんの作品が命名されました。誕生した敦賀市の炬火は、県の集火式で県内17市町のすべての炬火とひとつになりました。



平成30年9月1日：県集火式

おもてなし講習会

next stage 代表 青柳 美智代氏



青柳先生を招いてのおもてなし講演

AED講習会



敦賀消防署と敦賀市立看護大学の学生によるAED講習会

アスリートトークショー



日本水泳連盟アスリート委員長
萩原 智子氏

元競泳日本代表
(ロンドン・リオ五輪銅メダリスト)
星 奈津美氏



星奈津美氏を招いての講演会や萩原智子氏を交えてのトークショー、参加者からの質問タイム等を行いました

01 開催準備編

02 本大会編
(国体)

02 本大会編
(障スポ)

03 資料編



開催準備

はぴねすダンス



市民によるダンスPR隊「はぴねすダンス応援部」

国体・障スポを県民・市民で盛り上げるためのツールとして「はぴねすダンス」が制作されました。本市では、はぴりゅうとともに、小中学校の体育祭や地域のイベント等で「はぴねすダンス」を披露し、国体をPRしました。

また、平成29年1月には、600日前記念イベントで、市民によるダンスPR隊として「はぴねすダンス応援部」を結成。市内のイベントに参加して国体を盛り上げてきました。

はぴねすダンスよりも簡単に覚えられて誰でも踊ることができる「はぴねす音頭」も制作され、市内の夏祭りなどで多くの市民の皆さんに踊っていただきました。



はぴねすダンス・体操・音頭



各小中学校や地区の体育祭、保育園、多くのイベントで、はぴねすダンスや体操・音頭を踊っていただきました

はぴねすダンス応援部



はぴねすダンス応援部として、市内の各種イベントに参加し国体ダンスを披露。延べ38回のイベントに出演

ダンス講習会



実行委員会主催のダンス講習会をはじめ、各団体や学校、地域からの要請を含め、延べ46回のダンス講習会を実施

01
開催準備編

02
本大会編
(国体)

02
本大会編
(障害スポ)

03
資料編



応援花壇／花づくりサポーター

開催準備

花いっぱい運動／クリーンアップ活動



きれいな街、いっぱいの花で歓迎

国体開催機運の醸成や、全国から訪れる選手・監督、来場者の皆さんを温かくお迎えするため「花いっぱい運動」に取り組みました。

市民による「花づくりサポーター」として、競技会場に飾る「応援プランター」の育成や街並みを彩る「応援花壇」にご協力いただいたほか、市内の3か所の花壇を国体の「歓迎花壇」として花づくり団体の指導のもと植付を行いました。

また、美化サポーターを募集し、歓迎花壇周辺の美化活動や国体開催直前に、小さな親切運動敦賀支部との共催により、会場周辺のクリーンアップ活動を関係団体とともに実施し、きれいな街でお出迎えする準備を整えました。

市民がクリーンアップした競技会場は、心をこめて育成していただいた花プランターにより華やかに装飾され、訪れた多くの人を温かくお迎えすることができました。





歓迎花壇・応援プランター／花づくりサポーター



歓迎花壇づくり【舞崎花壇、松原花壇（松原小横、県道側）】



競技会場に設置したメッセージ入りの応援プランター

クリーンアップ活動／美化サポーター



市内のクリーンアップ活動に参加



美化サポーターによる歓迎花壇周辺の清掃活動

「福井しあわせ元気」国体・障スポ 歓迎クリーンアップ

【期日】平成30年9月22日（土）

【場所】総合運動公園および周辺

あいにくの雨天の中、競技会場となる総合運動公園とその周辺を美化サポーターや関係団体等、約300人で清掃活動を行いました。



01
開催準備編

02
本大会編
(国体)

02
本大会編
(障スポ)

03
資料編



開催準備

小中学校手作り歓迎装飾

(手作り応援のぼり旗・メッセージ横断幕／花いっぱい運動)



市内の児童生徒による手作りのおもてなし

市内の小中学校児童・生徒の皆さんには、選手・監督、来場者の皆さんを温かくお迎えするため競技会場を彩るさまざまな歓迎装飾にご協力いただきました。

平成29年には、「都道府県手作り応援のぼり旗」を286本、平成30年には「メッセージ横断幕」50枚を制作いただきました。また、「応援プランター」として250基の花プランター育成をしていただき、国体の競技会場は「手作り応援のぼり旗・メッセージ横断幕」や「応援プランター」などで華やかに飾り付けられ、多くの人を温かく歓迎することができました。

都道府県手作り応援のぼり旗



メッセージ横断幕



01
開催準備編

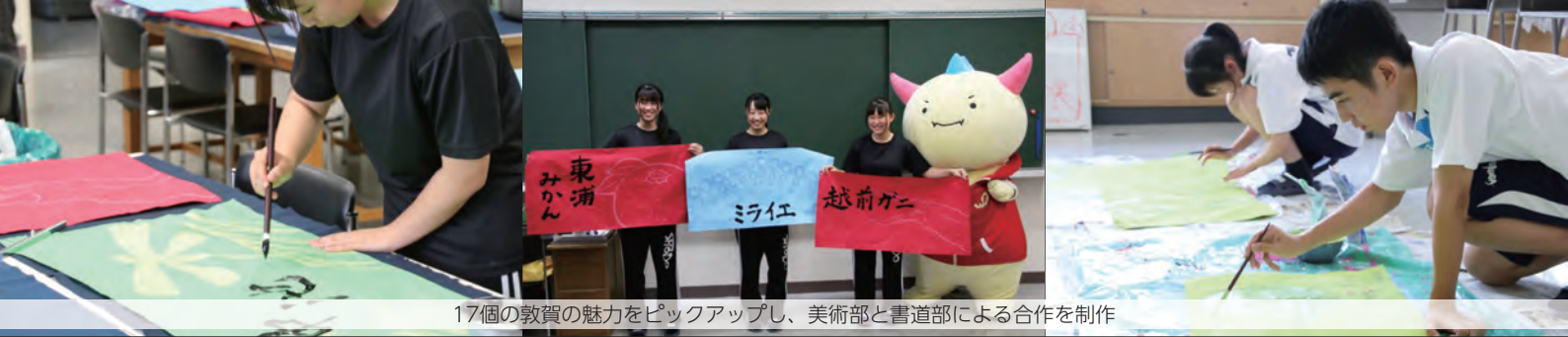
02
(本大会編
国体)

02
(本大会編
障スポ)

花いっぱい運動



03
資料編

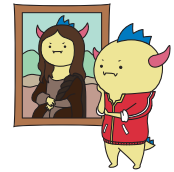


17個の敦賀の魅力ピックアップし、美術部と書道部による合作を制作

敦賀高等学校

開催準備

手作り歓迎アート



市民による街を彩る歓迎装飾

全国から訪れる多くの選手・監督、来場者を敦賀市らしい温かなおもてなしでお出迎えるため、市内の高校の生徒の皆さんに歓迎装飾等の制作を行っていただきました。

敦賀工業高校の生徒の皆さんには、授業などで学んだ知識や技能を生かしてもらい、「カウンタダウン付き顔抜きパネル」や国体PRブースとして活用するため「国体PR展示ブース(モバイルミニ赤レンガ倉庫)」の制作をいただきました。カウンタダウン付き顔抜きパネルは、国体前にはイベント会場などで広報啓発工作物として活躍し、国体期間中は、国体PR展示ブースとともに、競技会場内に設置しました。

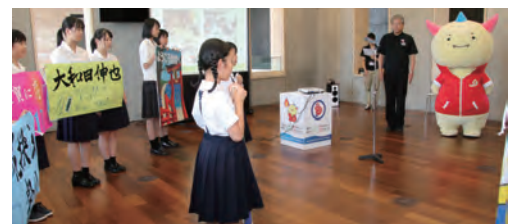
また、敦賀高校の美術部と書道部、敦賀気比高校の美術部の生徒の皆さんには敦賀駅前広場を飾る「手作りフラッグ」や「ガラスアート」の制作にご協力いただき、敦賀の玄関口である敦賀駅周辺を温かくアートに飾り付けて敦賀のPRをしていただきました。

どの作品も心温まるものばかり、訪れる人々は足を止めて見入っていました。

手作り歓迎アート披露贈呈式(平成30年8月22日)



披露贈呈式後にガラスアートの前で記念撮影



実行委員会副会長へ贈呈



制作した児童生徒の代表者が作品に込めた想いを発表

敦賀気比高等学校



どの作品も鮮やかな色彩で敦賀の魅力を表現しました

01
開催準備編

02
(国体編)
本大会編

敦賀工業高等学校



物づくりの特長を生かし、大型の広報啓発工作物を制作。可動式により市内のさまざまな場所に設置でき、PRに一役買いました

02
(障スポ編)
本大会編

03
資料編



開催準備

メモリアルオブジェ

50年ぶりの国体開催を記念し、次期開催に思いをのせて

50年ぶりとなる国体の開催を記念して、市内で活動するスポーツ少年団、敦賀海洋少年団、スカウト連絡協議会やダンスチームの子どもたちの手形のタイルを敷き詰めたオブジェを、競技会場となった総合運動公園内に設置しました。

今国体の開催記念と次期開催への思いをつなぐシンボルとしての「証」を後世に残すものとして、子どもたちに参加してもらい、将来の希望のオブジェとなるよう制作。また、天皇杯と皇后杯の獲得を記念し、敦賀市開催競技の関係者等からのメッセージが書かれたタイルや300日前記念イベントで制作したガラスアートも設置しました。

完成したオブジェには、約1,100人の子どもたちの手形や関係者の思いがこもったメッセージのタイルが並びました。

県民・市民が一丸となり獲得した日本一や、多くの人との出会いと感動を生んだ輝かしい思い出と未来へ前進する目標を結び証として「一結(いちゆう)」と名付けました。

